

2007年10月19日

## 大阪損保革新懇第10回総会開会挨拶

代表世話人 野村英隆

みなさん今晚は。お忙しい中、大阪損保革新懇第10回総会にご出席いただきありがとうございます。今回も多くの中間の参加のもと開会できることをお互いに喜び合いたいと思います。結成以来すべての総会はこの会場でおこなってきましたが、今日10回目を迎えました。私はすべての総会で開会挨拶を述べてきましたが、この丸9年を振り返るとき、感慨も一入です。

9年前、私たちは損保産業では最初の革新懇でしたが、その後各地で損保革新懇が誕生し、さらに各地で損保9条の会も結成されました。現在、北海道から九州まで損保革新懇と損保9条の会は15にのぼっています。来月、金沢で全国革新懇主催の全国交流集会在開催されますが、石川損保革新懇の仲間が事務局団体として奮闘してくれています。ここでも損保の仲間と交流したいと思っています。ブックレットは二回刊行し、それぞれ7000部以上を全国の仲間にも普及しました。2000年刊行のブックレットは大阪の単独編集でしたが、昨年のは15団体の協賛が実現しました。2002年から大阪損保革新懇ホームページを開設し、すべての講演録・アピール・ニュースを全国の仲間にも発信しています。最近ではカウントをしていませんが、1万アクセスは軽く突破していると思います。

2005年には憲法改悪反対署名6600筆を達成しました。広島平和バスツアーは3回実現し、2005年の損保宮島平和集会是損保革新懇・損保9条の会9団体で共催し、150名が結集しました。この間、全国革新懇交流集会、大阪革新懇年次総会ではたびたび活動報告をおこなってきました。先日の大阪革新懇年次総会でも野口事務局長は10年目の闘いを力強く報告し、職場革新懇活動の強化・発展を呼びかけました。この9年間を振り返る時、私たちの運動は間違いなく進んでいると確信できると思います。

今年は2ヶ月に一回の目標でイベントを取り組んできました。1月にジャーナリストの一宮美成さんを招き、『大阪市政の闇を暴く』講演会を成功させました。来月大阪市長選挙がありますが、とうとう永年続いたオール与党体制はつぶれました。清潔な市政実現を掲げる革新姫野候補が与党支持の関・橋爪・平松3候補と互角に闘うという情勢が生まれています。姫野市長実現のためがんばりたいと思います。2月と5月には西谷さんを招き、イラクの状況を映像で報告していただきました。多くの仲間がイラクDVDを求めてくれました。イラクからの撤退も当面の政治課題として浮上してきています。テロ特措法廃案とともにイラク撤退の闘いにも声を大にしていきたいと思います。

損保では昨年から今年にかけて大手4社が金融庁の業務停止命令を受けるという異常な事態となりました。『今こそ損保の社会的役割の発揮を』と題して、世話人の松浦講師が2回に分けて、最新の損保情勢を分析して講演しました。2000部以上の講演録を職場の仲間にも普及したことも今年の活動として特記していいと思います。

東海日動の仲間の制度と雇用を守る闘い、田崎さんの職場からバワハラをなくす闘い、新た始まった高田橋さんの闘いも損保効率化・合理化に対する闘いとして位置づけて奮闘してきました。これらの闘いも引き続いて闘っていきます

私たちは今日から 10 年目の活動に入ります。

昨年の総会は安倍内閣が誕生した直後でした。今回は福田政権誕生直後です。昨年講師にお招きした神戸女学院大の石川教授は「小泉政権の負の遺産を引き継いだ安倍内閣は不安定、短命内閣かもしれない」と講演されましたが、まさか一年も経たずに自ら政権を投げ出すとは誰も思いも及ばなかった異常な出来事でした。後任総理の選出をめぐって派閥・密室談合から福田総理が誕生しました。福田内閣の顔ぶれはほとんどが安倍内閣の留任者で、アメリカ追随路線・改憲主張派・構造改革路線推進派です。福田総理がみずから「背水の陣内閣」というとおり、後はありません。総辞職・解散総選挙がいつ行なわれるか、予測つけがたい情勢が続いています。

私たちはこのような情勢が生まれた背景として、国民が弱肉強食の新自由主義型「構造改革」路線に「ノー」、憲法改悪につながる「戦後レジームからの脱却」に「ノー」、すべての政治と経済の仕組みについてアメリカに追随することに「ノー」の三つの「ノー」の態度を明確に示したのだと考えます。品川さんは「国のあり方に国民が主権を発動したのだ」という見方をされています。私は「国民が主権を発動する時とは、将来憲法改正が国民に問われるときにイエスとかノーの態度を示すとき」程度に理解していましたので、品川さんのこの見識にさすがだなと思いました。先週発売の雑誌『経済』11月号でも品川さんと一橋大学渡辺治教授との対談は『新しい日本の進路を問う時代に』という表題で、大変長いのですが格調の高い対談です。一昨年、宮島平和集会で品川さんは「9 条の旗はボロボロだが、国民は旗竿をしっかりと握っている。9 条を守りきれば、世界史が変わる」と講演されましたが、どうやら今、日本史と世界史は変わり始めた時代に突入したといえるのかもしれない。

すなわち、日本の政治経済情勢は永らくつづいた自民党支配と自公路線を見限り、「国民が主人公」の新しい政治経済路線への歴史的転換期に入ったといえます。

『平和・民主主義・国民生活の向上』実現の革新三目標を掲げる革新懇運動がいよいよ真価を発揮する時代が到来しています。いよいよ革新懇の出番の時代です。来年は結成丸 10 周年総会、品川さんに記念講演の了解してもらっています。10 年目のこれからの一年、みんなで奮闘しましょう。

政治情勢が激動・激変・緊迫する中、今回の総会に牛久保秀樹弁護士をお迎えすることができました。牛久保先生は東京海上賃金差別事件・朝日火災一連の不当労働事件・東京海上日動外勤制度廃止事件など損保労働者の闘いについてご支援・ご指導をいただいています。私も 20 数年前、全損保時代に大変お世話になりました。このたび先生の『労働の人間化とディーセント・ワーク』を読ませていただきましたが、あらためて日本政府と財界の労務政策が国際的に見てひどいものであるかを学びました。今日の損保労働者のおかれている状況の背景を知ることができました。今日は遠路、来ていただきました。厚く御礼申し上げます。それでは牛久保先生よろしくお願いいたします。

